

第2回「みんなの保育大会議」を開催します！

長野県立大学健康発達学部こども学科は、信州の保育・幼児教育のさらなる充実を目指す交流の場づくりとして、「第2回 みんなの保育大会議～今のほいくとすこし先のほいく～」を開催します。今回は日本における愛着の第一人者を招き、保育者や子育てに興味のある方々を対象に講演をしていただき、その後意見交換を行います。

本企画は令和7年5月に長野県立大学で開催される日本保育学会第78回大会に向けたもので、令和6年度もシンポジウムや特別講座を開催する予定です。

なお、本企画は長野県教育委員会共催、長野県・長野市・長野市教育委員会後援、長野県立大学理事長裁量経費事業の助成をいただいています。

◆概要

【日時】2024年3月23日（土） 13:00～15:50（12:30受付開始）

【場所】長野県立大学三輪キャンパス

【プログラム】

特別講演 遠藤 利彦（東京大学 教授）

「今、大切にしたい子どもへの関わり～アタッチメントから考える保育者の役割～」

子どもの発達を支えるために、今、保育者に求められる役割について、アタッチメント（愛着）の視点からご講演いただきます。具体的には、幼少期の養育者の関わりが子どもの発達へ与える影響や幼児教育の重要性など、子どもの発達を支えるために、大人たちが意識する事柄、保育者に求められる役割について解説していただきます

また、参加者からの意見交換、講師への質疑応答も行います。

※詳細は本学ホームページからチラシをご覧ください。

https://www.u-nagano.ac.jp/news/hoiku_daikaigi/



【定員】150名 参加費無料（要申込）

◆取材申込

報道機関の方で取材を希望される場合、下記までご連絡ください。